

【別紙2】同価入札者がある場合の落札者決定方法

くじ番号による決定方法

- ① 入札参加者はあらかじめ3桁以内の任意の番号（「000」を除く「0」から「9」までの数字を3文字組み合わせたもの。）を入札書に記載する。
くじ番号の記載がない場合は「999」を割り当てます。
- ② 同価入札者は、入札参加有資格者名簿の事業者番号の小さい者から順に0、1、2…と入札番号を割り振りします。
- ③ 同価入札者のくじ番号の合計を同価入札者の人数で割り、余りを算出します。
- ④ 上記で得られた余りと、②で割り振られた入札番号が同じ者が落札候補者となります。

(例) (業者番号)	(会社名)	(入札金額)	(くじ番号)	(入札番号)
1	A社	1,000,000 円	1 2 1	0
2	B社	1,000,000 円	7 4 5	1
3	C社	1,020,000 円	3 3 3	
4	D社	1,050,000 円	9 6 0	
5	E社	1,000,000 円	5 8 1	2
6	F社	1,050,000 円	6 2 6	

- (1) 同価入札者が3者（A社、B社、E社）あるので、事業者番号の小さい者から順に0、1、2と入札番号を割り振ります。
- (2) 同価となっている入札参加者のくじ番号の合計を算出します。
$$\text{合計} = 1\ 2\ 1\ (\text{A社}) + 7\ 4\ 5\ (\text{B社}) + 5\ 8\ 1\ (\text{E社}) = 1,\ 4\ 4\ 7$$
- (3) (2)により算出した合計を同価入札者の人数で割り、余りを算出します。
$$1,\ 4\ 4\ 7 \div 3 = 4\ 8\ 2 \text{ 余り } 1 \rightarrow \text{余りの数 } 1$$
- (4) 上記で得られた余りと、入札番号が同じB社が落札候補者となります。
- (5) 仮に同価入札者が4者以上あった場合も、同様の手順により落札候補者を決定します。

同価入札者が2者の場合、余りは

→	0 → 入札番号 0 が落札
→	又は
→	1 → 入札番号 1 が落札

同価入札者が3者の場合、余りは

→	0 → 入札番号 0 が落札
→	1 → 入札番号 1 が落札
→	2 → 入札番号 2 が落札